

しゅとう  
中野十一中  
**手套**  
同窓会新聞  
第29号  
平成29年4月  
発行  
中野区立  
第十一中学校  
同窓会幹事会

### 平成28年度の緑野中学校

緑野中学校校長 田代 雅規



緑野中学校に就任して2年目となりました。同窓会の皆さん「手套29号」の発行おめでとうございます。平成28年度の緑野中学校も年度当初の計画通りに教育活動を進めることができました。

特に5月に実施した体育祭では、初めて応援団を結成し3色の色別対抗として実施しました。3年生を中心に多くの生徒が活躍し、保護者も一体となり盛り上がりました。また、11月の学芸発表会（合唱コンクール）は、中野ZEROホールが改修工事で使用できなかったため、ルネ小平で初めて実施しましたが、500名以上の保護者や地域の方々にご参加いただき、良い行事となりました。

1年間を通して、地域のボランティア活

動にも多くの生徒が参加しました。東山祭りには、40名以上の生徒が参加し、地域の方々との交流を通して多くのことを学ばせていただきました。4月の熊本の震災には、生徒会を中心に未使用のタオル集めを実施しました。緑野小学校・北原小学校・平和の森小学校の児童・保護者の方の協力もあって、1700枚以上のタオルを送ることができました。熊本市長及び熊本の小学校の児童から感謝の手紙もいただきました。

緑野中学校の生徒は、保護者や地域の多くの方々を支えられ、思いやりの心をもった優しい生徒に育っています。学校としても教育目標にある「探求・創造・共生」の精神をもとに、保護者や地域の方々の期待に応えるように教育活動を行っています。これからもご協力をよろしくお願いたします。



### 皆さん、お元気ですか？

同窓会会長（19期生）大内 慎吾



はいいもので、十一中と六中が統合されて、10年近い月日が流れようとしています。振り返るとこの間、「中野区立第十一中学校同窓会」の在り方について紆余曲折がありました。

当初、緑野中誕生の際は、六中同窓会、緑野中同窓会と統合を検討していました。しかし学校側から、「緑野中の同窓会が存在しない状況で、同窓会を統合するのは時期尚早である。卒業生が20才になるまで統合についての考えは延ばしたい。」とのお話を頂きましたが結論は出ておりません。十一中同窓会の活動についてこの10年程度の間、単独で存続、六中との統合、解散等等：様々な意見をいただいています。

緑野中は、平成30年には開校10周年を迎えます。開校10周年に際して、十一中同窓会としてどのように協力していくのが良いのか？今後の課題です。いずれにせよ、私たちの母校十一中は、50年間で卒業生は8000人を超えています。様々な分野で活躍されている方々もおられます。純粋に、この伝統、歴史を今後も引き継いでいきたいと思っています。

# 同窓生訪問

4期生

丹羽 諭氏

(ニワ サトシ)



写真家として活躍中の、丹羽諭氏にお聞きしました。

## ・中学時代の一番の思い出は？

桜井先生、鈴木先生、小尾先生、菅原先生など、よく覚えている。教えることに熱心ないい先生方だった。同級生は皆、仲が良く、学校が楽しかった。授業中、堂々と居眠りをして、先生が「そのままにしないでやれ」と言ったとかで、休憩時間になって目が覚めて皆に大笑いされたことが懐かしい。

## ・得意不得意な学科は？

社会科、特に日本史に興味が尽きない。今、インターネットで趣味の歴史の写真を

発信中 (<http://snawa.web-photo.com/>)。苦手は英語と数学と理科。鈴木先生に申し訳ない。

## ・写真家になるきっかけは？

会社で庶務課に配属され、工場に季節労働者の方が大勢いた。会社の一眼レフカメラでその方達の顔写真を撮影する必要があったが、カメラの使い方がまったくわからない。カメラは金庫に保管されていて勝手にさわる事が出来ない。そこで止むを得ず、会社の前の写真店でカメラを買って練習した。東京の祭りを撮っている内に面白くなり、いつその事と、会社を辞めてその写真店に就職した。

## ・写真家としての苦労は？

2年後、写真店の経営がおかしくなつて辞め、思い切つて毎日新聞の写真部に写真を持つて行った。何度も通う内に仕事をもらせるようになり、4年程経つた時、デスクが「丹羽もそろそろ一本立ちしないと」と、「毎日グラフ」で自分の写真で16頁も「東京の祭り」の特集を組んでくれた。この頃から仕事はほとんどが人物取材になる。就職情報誌で、毎日経済部の「裕(はざま) 宗夫」氏とは連日のように大企業の社長の所に行った。裕氏は八幡製鉄と富士製鉄の合併をスクープした毎日を代表する記者だ。ある時、裕氏と製薬会社の社長を取材した翌日、医学雑誌の取材でまた同じ

中野区立第十一中学校 第4期生 (1962年卒業)

日大鶴ヶ丘高校を経て日本大学法学部政経学科卒業。四年生の時、全共闘に参加、二

歴度の逮捕で国家権力の本質を肌で知る。会社員になつてからカメラに興味を持ち、写真店に勤め、その後フリーカメラマンとして70歳になつた今も現役。

現在、埼玉県深谷市で妻と二人の生活。趣味は国内旅行と温泉めぐり。

一般社団法人日本写真作家協会会員。

社長の所に行く事になった。片方がカラーで片方がモノクロ、レイアウトも違うから止むを得ない。先方で事情を説明して再び撮影したが、皆で大笑いした。取材対象者は昭和天皇からホームレスまで幅広く、いろんな事を経験させてもらっている。銀座で早朝、ホームレスを取材した時は胸が痛んだし、アルコール依存症と薬物治療の専門病院では個室の患者の様子を見て息をのんだ。昭和天皇の「大喪の礼」ではバン格拉デイシユ、現天皇の「即位の礼」ではボリビア大統領の同行取材をした。一人共、クーデターで政権を握つたが、バン格拉デイシユの大統領は国を留守にしている間に(反対派の)クーデターにあい、帰国後に投獄された。まったく世の中、何が起るかわからない。作家の取材も多かった。吉村昭氏のご自宅で奥様の津村節子氏にお茶

を出して頂いた時は恐縮したし、写真家の秋山庄太郎氏も撮っている。当時、先生はデジタルカメラが大嫌いだだったが「先生、今日はこれで撮ります」と言つてカメラを見せたら「勝手にしろ!」と言つて許してくれた。2012年には80歳以上の現役で働いておられる方々を取材した「いつも元気、いまも現役 老いてこそ輝く人生!」(厚生科学研究所刊)という本を出版してもらっているの、興味のある方はご覧頂きたい。昨年は、山梨県立文学館の「北柱夫展」で自分が撮影した北さんの写真をポスターに使ってもらった。

・後輩に一言

人生、どこでどう転ぶかわからないが、

同期会だより

四期生

4期生 梶 悌三  
平成28年9月25日(日) 13時から新宿住友ビル49階の「スカイギルド」にて4期生の同期会を開催しました。鈴木徹先生を迎え、31人が集まりました。

鈴木先生は病氣一つさげすみずお元氣な姿でのご出席でした。卒業以来初めて会う人もいて、当時の懐かしい話に花が咲き、会が大いに盛り上がりました。二次会は22名がカラオケの大部屋にだれだれ込み、まず最初に鈴木先生が歌う「若者よ」をみんな一緒に歌いました。この歌は鈴木先生が授業中に

へこたれず、しがみついて行けばなんとかなる。

・学校区内の今と昔の町並みは?

今、丸山近辺も高齢化が進み、町内が「年金ロード」と呼ばれているとか。心配しています。

・現在の若者観は?

昨年のニュースで、日本の軍事化に反対して国会前で抗議する若者達の映像を見て頼もしいと思つたが、連続してもっと声を上げて欲しい。

・休日の過ごし方は?

深谷市に住んでいるので、富岡製糸場の初代場長「尾高惇忠旧宅」で、同世代の人達と解説のボランティアをしている。

クラスでよく歌つて教えてくれた歌です。「わかくも〜の〜よ〜 からだをきたえておけ〜」というあの歌。あつという間に中学生に戻つてしまいました。そのあとは、みんなが聴いている、聴いていないにかかわらずマイクはどんどん出席者の間を駆け巡っていききました。最後に十一中の校歌を皆で歌い、次回の再会を約束してお開きしました。



地元で活躍する同窓生

「中野の金ちゃん」と呼ばれて

5期生 篠崎金一さん  
(鷺宮二丁目在住)

十三歳(中一)で日本鳩レース協会に入会。以来約五十余年鳩レースに参加し、75年下関八百キが最初の東京西地区優勝。西方は88年ソウル五輪記念日韓親善・釜山千キレース優勝。北方では稚内千百キ優勝、五百キから千百キまで、西地区優勝十数回、又協会の委託鳩舎レースでは二百、五百、七百、九百キと四回の全国優勝と現役のレースマンとして活躍しています。高校二年の時には東京五輪の国立競技場での開会式の放鳩に参加しています。又、日韓合同サッカーW杯開催時にはベルギー国営テレビでも紹介され、ベルギー、オランダ、中国と友人も多数おられます。89年近隣地域の武蔵野連合会の会長に就任。日本鳩レース協会の審査競争委員会委員長、評議員、専務理事を歴任。現在は顧問として、一部、欧州の人々、全国の愛鳩家と親交を重ねております。



# 同窓会報告

平成28年4月16日、水泳部は平成12年以來、7回目の同窓会を開催しました。

この水泳部同窓会は中野区水泳大会において、9期(昭41)から20期(昭52)までの連続11年間総合優勝という、歴史に残る輝かしい成果をあげた部員達の集まりです。

この同窓会に毎回欠かさず参加いただいているのが11年間の連続優勝を指導された、小坪先生です。

先生の指導は少数のエースを育成するのではなく、部員全員の底上げでした。ただ、それが大会に出場しても優勝もしくはそれに準じる成績を残すという、いわば全員をエースに育ててしまう素晴らしい指導で、マジックというしかありません。

部員には都大会で活躍した人や、高校で



全国レベルまで進んだ人もいます。また、現在も水泳のインストラクターをしている人もいます。

十一中水泳部の特徴は他の運動部との交流が盛んだったことです。プールで泳げない冬は陸上部や卓球部の練習に参加したり、逆に夏はバレー部や野球部の部員が区の水泳大会で活躍しました。

ほとんどの部員がクラスより水泳部での思い出の方が鮮明なほど、強烈な印象を残した3年間の部活でした。残念なのは校舎改築でプールが使用でき

## 同期会だより

### 一期生

1期生 梶 謙一

一期生は今年74歳を迎えます。亡くなられた方、連絡の取れない方が多くなり、寂しい限りです。一方、東京を離れた人も多し中、遠くから同期会に駆けつけてくれる仲間には感謝です。「一期生会」は毎年開いています。やむなく参加できない方には近況を送って頂き、プリントして配っています。これからも続けます。

## 開催の案内

### ◎バレーボール部

### OB・OG会

6月24日(土) 14時。新宿プリンスホテル地下一階のパーティールームで開催。

### ◎十五期・還暦同期会

11月11日(土)に開催します。場所、時間は未定。双方とも連絡先 長谷川 嘉昭

中野区沼袋4の7の6

090・3687・1591

Eメール h.a.9.2.4@ezweb.ne.jp

## 編集後記

「同窓生訪問」には過去に参議院議員、映画プロデューサー、短大・大学の学長、国連職員、落語家、音楽家、俳優、地域の郵便局長、開業医、不動産屋さんなど沢山の同窓生に登場していただきました。皆様の新しい情報をお待ちしています。

事務局 中野区鷺宮1の7の4 笠原  
電話 03(3310)6122

Eメール kasabina.a@silk.plala.or.jp

## 第十一中学校同窓会 総会・懇親会

平成29年5月27日(土)  
総会 15時30分~16時  
終了後 同窓会合唱団演奏  
場所 緑野中学校  
2階フリールーム  
懇親会 17時頃より  
場所 近くのお店で予定

同窓会ホームページアドレス  
<http://n11jhs.net/>

なくなり、水泳部の活躍が20期で途絶えてしまったことです。小坪先生は現在も毎年スキーを楽しめるほどお元気で胸板も当時のまま分厚く、85歳という年齢を全く感じさせません。これからも水泳部同窓会は可能な限り、毎年開催したいと思っています。

11期生 木本 芳夫